

2024年 5月20日  
京成電鉄株式会社

## 5年ぶりの新形式車両！

# 2025年冬に「3200形」を導入します

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、新型車両として2025年冬の営業運転開始を目指し、6両1編成を導入する予定です。

『人や環境にやさしいフレキシブルな車両』をコンセプトに、フレキシブルに編成車両数を変更できる車両とすることで、輸送需要に見合った効率的な走行エネルギーの使用により環境負荷の低減に努めます。また、車内防犯対策や省エネルギー化、バリアフリー対応に努め、車内の安全性、快適性の向上を図ります。

車両デザインでは京成車両の伝統である赤と青のカラーリングを踏襲し、京成電鉄の車両としてお客様に永く親んでいただけるデザインとしています。また、連結運転時に常時通り抜けが可能な構造とするため、正面貫通扉を中央に配置します。

車内設備では、あらゆるお客様が安全・快適にご利用いただけるよう、各車両に車いすスペースまたはフリースペースを設けるほか、吊り手の高さを下げるなどのバリアフリー設備も充実させます。また、各車両に防犯カメラを設置し、車内非常通話装置と連動させることで、客室内の防犯カメラ映像を乗務員室で迅速に確認出来るようにします。さらに最新の半導体を使用したSiC-VVVF制御装置を搭載することにより、当社3500形車両と比較して電力消費量を約69%削減します。

本件の詳細は次頁のとおりです。

なお、本車両の納入時及び運行開始前においても順次公表致します。



新形式車両3200形(イメージ)

# 新形式車両「3200形」について

## 1. 運行開始時期

2025年冬（予定）

## 2. 導入車両数

2024年度 6両1編成

2025年度以降も継続して導入予定

## 3. コンセプト

「人や環境にやさしいフレキシブルな車両」

## 4. 主な特徴

### (1) 車両外観

外観デザインでは京成車両の伝統である赤と青のカラーリングを踏襲し、3100形の質実さ、実用性という要素を引継ぎつつ、連結運転時に常時通り抜けが可能な構造とするため、正面貫通扉を中央に配置します。



【新型車両 イメージ図】

### (2) 機能

#### ① 編成車両数の変更

2両単位でフレキシブルに編成車両数を変更可能とすることにより、輸送需要に見合った効率的な走行エネルギーを使用することで環境負荷の低減に努めます。

#### ② 環境への配慮

最新の半導体を使用した SiC-VVVF 制御装置を採用することで、当社3500形車両と比較し、電力消費量を約69%削減します。また、車外側面に設置する行先・種別表示器のLEDを走行中に消灯することで、消費電力のさらなる低減を図ります。

#### ③ DX の推進

SiC-VVVF 制御装置や空調装置等の車載機器の動作状況をモニタリングし、故障対応の迅速化などによる安全性・安定性の向上を図ります。また、モニタリングによるデータを活用し、将来的には故障の予兆把握やメンテナンスの省力化を図っていきます。

### (3)車内設備

車内設備では、あらゆるお客様が安全・快適にご利用いただける設備を車両に導入します。

#### ①車いすスペース・フリースペース

先頭車には車いすスペースを設けます。また、中間車には、ベビーカーやスーツケースなどの大型荷物をお持ちのお客様にもご利用いただきやすいよう、フリースペースを設けます。

#### ②車内案内表示器

17インチ LCD(液晶)車内案内表示器を各乗降扉上に2画面設置し、停車駅や乗り換え案内等の表示を多言語で表示するほか、列車の運行情報もご案内します。

#### ③客室 LED 照明

客室内照明に LED を採用し、省エネルギー化を進めます。

#### ④空気浄化装置

空気の浄化効果のあるプラズマクラスターイオン発生装置を設置し、車内環境の改善を図ります。

#### ⑤防犯カメラ

犯罪・迷惑行為の抑制や車内セキュリティーの向上を目的として、防犯カメラを1両に3台設置します。

#### ⑥非常通話装置

非常通話装置に連動して、客室内の防犯カメラの映像が乗務員室で確認出来る機能を当社では初めて採用します。

#### 【車内イメージ図】



客室全景



先頭部客室全景

※1 本リリースに掲載している画像は全てイメージです。

※2 プラズマクラスターロゴおよびプラズマクラスター、Plasmacluster はシャープ株式会社の登録商標です。